

MACF 礼拝説教要旨

2024 年 12 月 8 日

「その名はイエス」

マタイによる福音書 1 章 20 節～23 節

20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。

「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。

マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである

21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。

この子は自分の民を罪から救うからである。」

22 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して

言われていたことが実現するためであった。

23 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。

その名はインマヌエルと呼ばれる。」

この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

先週、私たちは救い主の 4 つの名前について考えました。

「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」

今週もイエス様のお名前について考えてみましょう

普通、名前というのは親が生まれてくる子供のことを考え、一生懸命あれこれ調べ、そして命名します。

親の期待を一身に担っているような名前です。

ところがイエス様の場合、違いました。

それは天使が夢の中でヨセフに告げた名前だったからです。

つまり、神様が「望んでいる名前」ということです。

「イエス」という名前をつけるようにという出来事は

ルカによる福音書 2 章にも短く書かれています。

ヘブライ人にとって、名前は重要な意味を持ち、特にその人が果たすよう託された使命と結びついていました。

「名はその人の本質を表して」います。

1) イエス

「イエス」という名は、ヘブライ語の一般的な名前です。ヘブライ語では「ヨシュア」

、ギリシャ語化したものが「イエス」です。ギリシャ語の発音は「イエスース」イエス様の時代に用いられていたアラム語では「イエシュ」です。イエズ会という名前の修道会がありますがあのイエズスは教会ラテン語のイエス様の呼び名です。

ヘブライ人にとって、名前は重要で、特にその人が果たすよう託された使命と結びついています。

「イエス」は「主は救い」という意味です。「神は救いをもたらす」という意味にも通じています。

つまり、このイエスという存在を「見たり、聞いたり、触れたり、信頼したり」することで

「確かに神は救ってくださるお方なのだ」「神は、こんな私にも救いを届けてくださるのだ」ということがわかるということになります。

だからこそ、私たちは聖書を読み、学び、考え、その御言葉を通してイエス様を知り、同時に

神が救いを実行しておられることを目の当たりするのです。

極論すれば「キリスト教とはイエス体験」なのだと思います。

2) インマヌエル

そしてマタイによる福音書に紹介されているもう一つの名前があります。それはインマヌエル。

この引用は旧約聖書イザヤ書からのものですが、インマヌエルとは「神は私たちと共におられる」という意味があります。

イエス様は、インマヌエルと呼ばれる存在なのだということです。

つまり、イエス様を知り、イエス様を信頼することで「神が私たちと共にいてくださる」と

いうことが心に深くわかるようになるということです。

「神様が共にいてくださる」ことは、決して、単なる思い込みではありません。

イエス様の生涯を見たら、「神様が共におられる生涯」だとわかり、イエス様を信頼することで

「神様が私たちと共にいてくださる」ことが深くうなづけるのです。

3) それらの名前のインパクト

「主は救い」「神は我々と共におられる」という名前を表明し、それを体験させてくださる

お方がいるというだけで一大ニュースだと思います。

同時にそれは、私たちに対する大きな希望です。絶望せずに生きることができるための大事な土台です。

しかも、そのお方が時代を超え、人種を超え、私たちのために、私たちのところにも来てくださいました。聖書を通して、それが明確になりました。

神様は、あなたを救ってくださいます。救うという言葉には広い意味があります。

「物質的な供給、病の癒し、関係の回復、罪の赦し、永遠のいのち、死の恐れからの解放」などなど、私たちの生活の全ての面について「救いの光」を点じ、ある場合にはどうすれば良いのか促し、ある場合にはご自身自らが犠牲になって救いの道を開いてくださいます。

そして、そのお方を通して、私たちは「神が私たちと共におられる」ということを悟り、今、この現実の世界を「神と共に生きている」あるいは「神が共にいてくださって、生かしてくださっている」ことを噛み締めながら、絶望せずに生きられるようになるのです。

そのお方を心から歓迎する日、それがクリスマス。

クリスマスは「キリスト」と「ミサ、礼拝」を繋げてできた造語です。

キリストを礼拝する、それがクリスマス。

その作業は 12 月 24 日だけのものではありません。

私たちにとって、毎日がクリスマスなのです。

MACF 礼拝映像は

<https://youtu.be/VB0JLKzaNv0>